

## 沖縄の水道自治体から「安全で美味しい水を安定的に届ける」 技術を学びます！

課題別研修「緩速ろ過（生物浄化法）による浄水システムと水道管理技術」が1月15日からスタートし、7ヶ国8名（ブータン、フィジー、マレーシア、マーシャル諸島、ナウル、東ティモール、ツバル）が研修を受けています。この研修では、2つのテーマから沖縄の知見や経験を学びます。

### 緩速ろ過（生物浄化法）による浄水システム

薬品ではなく、生物の働きにより安全なおいしい水に浄化する緩速ろ過（生物浄化法）は管理が簡単でコストもかからないというメリットがあり、途上国では適用しやすい浄水方法です。

「生物浄化による緩速ろ過方式」（Ecological Purification System/ EPS）の第一人者となる信州大学名誉教授中本忠信先生を講師に迎え、実際にバケツを使った小型の緩速ろ過装置を製作しながら、原理を理解します。また県内の緩速ろ過浄水場を訪問し、実践的な運用を学びます。



7か国からきた世界各国の研修員



バケツを使った小型緩速ろ過装置の製作

### 水道管理技術

多くの開発途上国では、無収水（料金に繋がらない水）が多いことが課題になっています。その要因は、管路施工が適切にされていないことから漏水が起きてしまう、漏水があるのを見つけれられない、という技術的な課題や、施設や機材の整備の課題、データが適切に届いていない等管理の課題、また住民への意識づけの課題などさまざまです。

沖縄は、大きな河川や湖などの水源がなく、降水量が年や季節で大きく変化することから、「水を安定的に確保することが困難」といえる自然環境であり、その中で水を無駄なく安定的に住民に届けるためのさまざまなノウハウをもっています。

そのノウハウを伝えるために沖縄内の水道自治体が連携し、施工管理、漏水調査、漏水修理の技術、施設や機材の整備、料金徴収までの一連の流れや住民への啓発活動など、水を大切にしながら安定的に届けていくための技術を移転する、沖縄連携による課題解決の研修です。

メディアの皆様の取材をお待ちしています！

研修名：緩速ろ過（生物浄化法）による浄水システムと水道管理技術

研修期間：2024年1月15日（月）～2月9日（金）

研修場所：JICA 沖縄、沖縄県内

県内協力自治体（訪問順）：

大宜味村建設環境課、名護市環境水道部、東村建設環境課、南部水道企業団、沖縄市上下水道局、那覇市上下水道局、沖縄県企業局

主な研修予定（取材のご希望や日程詳細は、事前に担当者にお問い合わせください）

1月17日（水）	バケツを使った小型緩速ろ過装置の製作 @JICA 沖縄
1月18日（木）AM	大宜味村の緩速ろ過浄水場視察 @大宜味村
1月18日（木）PM	講義「管路施工について」@名護市中央浄水場 サドル付分水栓の施工実習（管路施工）@名護市中央浄水場
1月19日（金）AM	10:00 名護市長表敬 @名護市役所 管路施工の現場見学 @名護市内
1月19日（金）AM	東村の緩速ろ過浄水場を見学 @東村 川田浄水場
1月23日（火）PM	沖縄県南部の緩速ろ過浄水場と小規模地下ダム視察
1月24日（水）AM PM	講義「漏水探知および分水栓探知と修理について」@南部水道企業団 漏水探知および分水栓探知の現場実習
1月25日（木）AM PM	講義「圧力管理：配水ブロック管理(DMA)について」@沖縄市上下水道局 講義「計装システム(SCADA)によるモニタリング」@沖縄市上下水道局
1月26日（金）AM PM	講義「安全経営のための料金徴収」@沖縄市上下水道局 沖縄市の配水池・ポンプ場・水道工事現場の見学
1月29日（月）PM	県内ダム見学 @倉敷ダム
1月30日（火）PM	講義「給水工事の申し込み・水道開栓受付から料金収納まで」 講義「検針業務について」@那覇市上下水道局
1月31日（水）	講義「漏水履歴と修理情報の管理方法について」 講義「マッピングシステムと資産管理・実用方法」@那覇市上下水道局
2月2日（金）AM	急速ろ過浄水場の見学 @石川浄水場 講義「飲料水の水質管理の概論」
2月2日（金）PM	水質検査体験実習
2月5日（月）PM	北谷海水淡水化センターの見学（可搬式コンテナ型海水淡水化装置の紹介）@北谷浄水場
2月8日（木）	アクションプラン発表会

**PRESS RELEASE**



独立行政法人国際協力機構  
沖縄センター  
2024年1月17日

**取材・本件に関するお問い合わせ先**

独立行政法人国際協力機構(JICA)沖縄センター 研修業務課 担当:松原 真穂  
TEL 098-876-6000 E-mail: Matsubara.Maho@jica.go.jp